

# かんさい回覧板

発行責任者 榎木 邦二  
編集責任者 教 宣 部

## 出来てビックリ!?

### 詰所・案内所は問題だらけの欠陥工事!!

#### 現場の声を無視した新大阪駅改良工事の実態

前回の情報でも明らかにしてきたように、新大阪駅では平成 24 年度末までの予定で改良工事が行われています。改良工事に伴い二科詰所・案内所・精算所が移設され1ヶ月が経ちますが、深刻な問題点が明らかになってきました。現場で働く社員ばかりか、管理者からも不満の声が多数上がってきています。

### 現場で働く社員の声を全く聞かず 工事を進めた結果がこの始末!!

- ①案内所にJR西日本管内の「在来線遅延情報」を伝える情報伝達装置がありません。そのため、案内業務に関係する在来線の遅延情報などが全く把握できず、逆に問い合わせに来られた旅客から情報を得るといふことも発生しています。
- ②会社は日頃からセキュリティ管理の徹底を指示しているにもかかわらず、カウンターのコンコース側には防犯用のシャッターがありません。改良工事のためコンコースには営業終了後に多くの作業員などが出入りしていますが全く無防備な状態です。さらに、カウンター内にはシャッターがないため夜間工事による粉塵などが溜まります。粉塵にはアスベストが含まれている可能性があり、健康管理の面でも大きな問題があります。
- ③カウンターの目の前には21番・22番線からの下りエスカレーターがあるため、降車された旅客と常に目と目が合うなど精神的にプレッシャーがあります。さらに、カウンター前のスペースが狭いため、多数の旅客がカウンターに来られた時は、エスカレーターから降りて来られた旅客との間で傷害事故が発生することが考えられます。
- ④二科詰所と精算所の空調はコンコースと一体となっていて、詰所で空調の冷暖などの操作ができません。冷房から暖房に切り替えられたところ、詰所には窓も換気扇もなくパソコンなどの機器が放出する熱により室温が33℃まで上昇したことがありました。室温が下がらないため収納した扇風機を出してきて使用することも発生しています。詰所で業務する社員からは、「頭が痛い」「気分が悪い」等の症状が訴えられています。

このような問題が発生するのは、現場で働く社員の意見を聞かず、業務内容をまったく理解していない支社の課員と現場の担当者が工事を進めた結果です。分会は地本を通じて、今後も引き続き現場の声を会社に申し入れます。皆さんの意見を聞かせてください。